

## 2024年6月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	19,744,439	16,579,527	119.1%	28,778,830	68.6%
国内旅行	3,896,179	4,352,340	89.5%	3,845,575	101.3%
訪日旅行	973,388	741,610	131.3%	2,712,666	35.9%
合計	24,614,006	21,673,478	113.6%	35,337,073	69.7%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデーtravel、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較をするとともに、2019年同月比を記載しております。

### ■海外旅行

夏の大セールの後半戦として、6月21日より「SUPER SUMMER SALE! FINAL 2024」を展開。7・8月出発対象の割引クーポンの配布や、成田発ーグアム行のチャーター便など、HISならではの特別施策を通じて、夏旅の需要喚起に努めました。また、6月28日には、HISを代表する旗艦店を、「トラベルワンダーランド新宿」として移転リニューアル。旅行予約だけでなく、旅と出会える場として、リアルならではの体験型店舗の構築を図りました。6月出発の取扱高においては、イタリアが2019年同月比94.3%と高い回復をみせており、中でも20代・60代のカップル・夫婦層の添乗員付きツアーが好調に推移しました。送客数においては、韓国・ソウルが20代・50代・60代の女性層からの需要が引き続き高く、全体の3割を占め安定的な回復をみせました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比119.1%、2019年同月比68.6%の197億4,443万円となりました。

### < 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019年同月比
アジア	67.4%
オセアニア・南太平洋	87.8%
ハワイ・ミクロネシア	38.7%
欧州・中近東・アフリカ	94.1%
北米・中南米	80.1%

商「品別	2019年同月比
手配旅行	71.0%
企画旅行	63.0%

チャネル別	2019年同月比
店舗	58.8%
オンライン	88.2%

### ■国内旅行

北海道において、「北海道日本ハムファイターズ」とのオフィシャルスポンサー企画「ES CON FIELD 手ぶらで親子サマーキャンプ」公式ツアーや、茨城発ーとちか帯広空港行のチャーター直行便の展開など、オリジナリティあふれた商品を展開するとともに、家族旅行応援施策として、18歳未満のお子様が行くファミリー旅行の最大10%割引など、夏の販売促進の施策の展開を図りました。6月出発の取扱高においては、航空機利用のツアーが、前年同月比・2019年同月比において下回ったものの、航空券とホテルを組み合わせた「ダイナミックパッケージ」が、前年同月比136.5%と好調に推移しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比89.5%、2019年同月比101.3%の38億9,617万円となりました。

### ■訪日旅行

鳥取県と連携事業地域を全世界に拡大した「インバウンド観光推進に関する協定」を締結し、自治体との連携強化に努めました。6月の取扱高においては、引き続き北米マーケットからの団体旅行が牽引しました。個人旅行においては、アジアからの受客を中心に、定番の富士山・箱根のバスツアーが関東における6割強のシェアを占めるなど、高い人気をみせました。中国マーケットに関しては、団体ツアーの動向が徐々に動きは見せるものの、本格的な回復には至っておりません。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比131.3%、2019年同月比35.9%の9億7,338万円となりました。

2024年6月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比113.6%、2019年同月比69.7%の246億1,400万円となりました。

※) 日本国内における旅行区分別取扱高原稿において、一部の数値誤りがございました。2024年8月26日付で修正点を反映しております。

## 2024年6月 海外における旅行取扱高状況報告

&lt; 海外における旅行区分別 &gt;

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
インバウンド	14,347,647	10,839,941	132.4%	17,673,490	81.2%
アウトバウンド	12,078,479	11,951,382	101.1%	13,239,214	91.2%
合計	26,426,127	22,791,323	115.9%	30,912,704	85.5%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。また、2019 年度は旧会計基準、2024 年度のツアー商品は「進行日」、手配旅行は「手配完了日」に計上基準を変更した参考値となります。また、コロナ以前と比較するため、2019 年同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

## ■ 海外インバウンド

韓国法人では、夜景の噴水ショーなどの季節商品、ホテル施設を活かした特典付き商品やラグジュアリープランを展開し、前年同月比 114.8%、2019 年同月比 105.6%と堅調に推移した他、ドイツ法人では、コロナ禍以前では取り扱っていなかった新たな周遊ツアー商品の受客や産業見本市開催期のホテルの販売が伸び、前年同月比 117.6%、2019 年同月比 505.3%と好調な回復をみせました。一方、海外現地法人のインバウンド事業を牽引するハワイ法人では、団体旅行の集客は前年実績を上回ったものの、個人旅行におけるパッケージツアーの回復鈍化がみられ、前年同月比 96.0%、2019 年同月比 54.3%となりました。

カナダ法人のインバウンド部門である「JONVIEW CANADA (※1)」は、ヨーロッパからのパッケージツアー需要を取り込み、前年同月比 117.8%、2019 年同月比 137.3%で推移しました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 132.4%、2019 年同月比 81.2%の 143 億 4,764 万円となりました。

## ■ 海外アウトバウンド

フィリピン法人では、日本行きの団体旅行需要に加え、ビザ手配やオプションツアーの取り扱いが増加し、前年同月比 185.4%、2019 年同月比 112.8%となった他、スペイン法人では、ハネムーンを中心とした日本行きの個人旅行需要を捉え、前年同月比 194.9%、2019 年同月比 153.6%と好調に推移しました。また、イギリス法人では、ヨーロッパ周遊商品の需要を獲得し、前年同月比 150.4%、2019 年同月比 98.8%と堅調な回復をみせています。

海外アウトバウンド事業を牽引する、カナダ法人のアウトバウンド部門の「RED LABEL VACATIONS (※2)」は、中南米行きの中距離商品の販売が堅調に推移し、取扱高は前年同月比 99.7%、2019 年度同月比 104.6%と着地しました。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 101.1%、2019 年同月比 91.2%の 120 億 7,847 万円となりました。

2024 年 6 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 115.9%、2019 年同月比 85.5%の 264 億 2,612 万円となりました。

(※1) JONVIEW CANADA (連結対象：2017 年 12 月～)

カナダを代表するツアーオペレーターとして、欧州からの受客を中心にインバウンド事業を展開。世界中の旅行業向けの商品やサービスを多数提供し、30 年以上にわたり事業展開する中で、カナダ国内の 2,000 以上を超えるサプライヤーと提携。2023 年 8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

(※2) RED LABEL VACATIONS (連結対象：2019 年 3 月～)

カナダを拠点にオンライン旅行販売とホールセラー事業を通じてアウトバウンド事業を展開。オンライン販売のブランド (redtag.ca と itravel2000.com) を通じて、世界中のパッケージツアー、フライト、ホテル、周遊など、多様な旅行商品を提供。ホールセラーとしては、カナダの旅行代理店にあらゆる旅行商材を提供。2023 年 8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188  
広報室：050-1746-4177